

## 意見交換における民間委員からの主な意見

地域産業振興構想の策定にあたり、第1回の会議ではご意見のほか、事業者等へのヒアリング、アンケート調査等を踏まえ、地域産業振興構想（素案）を作成しました。

第2回会議では、この構想（素案）について説明し、その内容について議論しました。

### ○構想（素案）の7つの基本方針について

#### **基本方針Ⅰ「大地と海の恵みを未来へつなぎ、持続的で力強い農林水産業」について**

- ・本市1万2千haの広大な森林資源を有効活用するため、他産業（農業法人など）との連携により事業推進を図っていくべき。
- ・全ての産業に言えることではあるが、特に一次産業では、他産業と比較して担い手・雇用（労働力）の確保が難しい。担い手や雇用の確保に向けた施策に力をいれるべき。
- ・近年、市内も農業法人が増えてきたが、どの法人も運営が厳しい。法人への新規就業者もいるが、総じて構成員の高齢化が目立ち、生産力が低下している。農協等の共販においても市場に対して販売力はあるが、生産力が追い付かない状況。また、農協も平成31年4月には県下一農協となり、これまで以上に販路拡大に取り組んでいくことから、生産現場の活性化と労働力の確保が課題である。
- ・6次産業化等、他業種との連携については、夏みかんの首都圏販売にも取り組んでいるが、生産力が追い付いていない状況。

#### **基本方針Ⅱ「受け継がれる技能・技術を新たな価値の創造につなぎ、個性がひかり、市場を勝ち取る事業を育てる」について**

- ・ITやIoTを一次産業で取り組むことは重要に思うが、市内に対応できる事業所がない。例えば、一次産業にIoTを取り入れるのであれば、サテライトオフィスを誘致してからといった手法ではスピード感が足りない。IT事業者と連携し、行政が生産者とのマッチングを図るなど、スピード感のある取り組みをもって進めるべき。
- ・事業承継について、これまで業績は悪くないが後継者がおらず廃業せざるを得ないといった事案もあった。例えば、地域おこし協力隊を創業・起業のみならず事業承継にも活用できないか。

#### **基本方針Ⅲ「ゆったり・じっくり観光」といった滞在型・体験型の観光コンテンツの充実により、新たなまちの魅力を創る」について**

- ・構想における観光の方向性として、記載内容は良いと思う。
- ・インバウンド対応について、訪日外国人の来客もあるが、メニューなども含め十分な対応が出来ていない。これからはこのような対応も必要だと思う。
- ・食に関して、最近では近隣市町の道の駅が元気である。よく目に耳にすることからPRに力を入れているのを感じている。萩市も両市町と連携して山陰地域に集客を呼び込むPRに努めてはどうか。
- ・山口県はサイクル県としても知られ、萩市も自転車で周遊できる観光施策を検討してみてもどうか。

・インバウンドの推進については、将来性を見据え、萩との関係性のあるターゲットを絞った対策を講じてほしい。

#### **基本方針Ⅳ「女性の多様な働き方を応援し、社会でイキイキと活躍できる環境づくりを推進する」について**

・構想の素案としてはこの方針の方向性の内容に間違いはないと思うが、「女性」だけでみると萩市に構想期間の10年間でどれだけニーズがあるのか疑問である。現在、県の財団が主催する女性向けの経営セミナーにも参加しているが、県全域でみても女性の創業・起業を希望する方は少ない。女性に限定した支援ではなく、学生や高齢者も含めた支援策（ネットワークづくり）が良いのではないかな。

また、今、働いている女性への支援（子供を持つ親への支援）など現状を踏まえたスピード感ある施策も必要ではないかな。

#### **基本方針Ⅴ「チャレンジマインドの醸成と、起業・創業、新分野への進出など市民や企業のチャレンジを支える基盤を構築する」について**

- ・市内労働者の平均的な所得を思うと「副業」という考え方も理解できる。
- ・稼ぐ力のある産業についての説明もあったが、労働者の感覚的には、稼いでいるとされる産業従事者も所得が向上しているとは感じていないのではないかな。そうした感覚のギャップを強く感じる。
- ・特区の取組について、萩焼の分野にも取り組めるものがあればよいのではないかな。
- ・稼ぐビジネス、持続可能なビジネス体制を構築するため、本来、民間主導、若い人たちによる「まち」を良くしていこうという意識改革が重要。

#### **基本方針Ⅵ「消費者に支持され、愛される「萩ブランド」を市民とともに育て、まちの魅力を高める」について**

- ・ブランドの再構築にあたって、いかにブランドを浸透させていくかといった「ブランド浸透戦略」の立案も再構築と併せ取り組む必要がある。
- ・基本方針Ⅰに記載した商社機能（地域商社）については、基本方針Ⅵにも示したらどうか。

#### **基本方針Ⅶ「付加価値の創出の源泉となる人材力を強化する」について**

・必要かつ難しいテーマ。例えば宇部市、徳山市、下関市のように研究開発、医療、医学、産業技術が産業ベースとして揃い、地域の若者が学ぶ基盤が整っている。萩市の場合、こうした基盤が弱い。一度、市外へ出た若者がまた戻ってきたいと思わせるためにどのようなことができるのか、まちの魅力を維持し続けなければならないが、地道に情報発信や理解をさせていくしかないのではないかな。